

第2部 宮城における復興の現状

数字で見る宮城県の復興状況（インフラ）

【基幹的なインフラ】

東日本大震災時

12年後（現在）

<p>➤ 道路（平成23年） 道路（国直轄） 道路・橋梁（県管理）</p>	<p>甚大な被害</p>		<p>100 % 復旧（令和2年12月） 100 % 復旧（令和4年9月） 新たに、復興道路・復興支援道路を整備</p>
<p>➤ 河川（平成23年） 河川堤防（国直轄） 河川堤防（県管理）</p>	<p>甚大な被害</p>		<p>100 % 復旧（令和4年3月） 99 % 復旧（令和4年12月）</p>
<p>➤ 鉄道（平成23年） 県内のJR5路線</p>	<p>456kmが被害</p>		<p>100 % 復旧（平成28年12月） うち気仙沼線・大船渡線の一部区間はBRTとして復旧（令和3年2月）</p>
<p>➤ 港湾（仙台塩釜港）</p>			<p>100 % 復旧（平成27年3月）</p>
<p>➤ 空港（仙台空港）</p>			<p>100 % 復旧（平成25年11月）</p>
<p>➤ 防潮堤</p>	<p>延長232.8kmの整備が必要</p>		<p>98% 整備（100% 着工）（令和5年1月）</p>

数字で見る宮城県の復興状況（被災者の住まい再建）

東日本大震災時

12年後（現在）

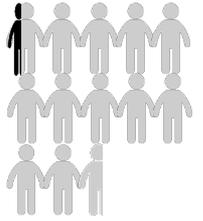
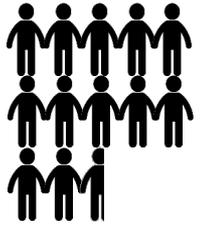
【応急仮設住宅入居者数】

12.7万人（最大時：平成24年3月）



12人（令和5年1月時点）

※全て県外からの避難
※全てみなし仮設住宅（民間賃貸住宅に居住）



【住家・非住家被害】

整備計画

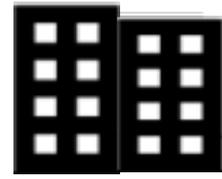
全壊	83,005棟
半壊	155,130棟
一部損壊	224,202棟
床下浸水	7,796棟
非住家被害	26,796棟



災害公営住宅整備：**100%**（1.6万戸）
（平成31年3月）

民間住宅等用宅地：**100%**（0.9万戸）
（令和2年3月）

上記のほか、持家修繕、民間賃貸入居等



数字で見る宮城県の復興状況（産業・生業の再生）

【産業・生業】

東日本大震災時

12年後（現在）

➤ 漁業（主要4漁港（気仙沼、女川、石巻、塩釜））

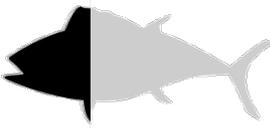
水揚量：31.3万t（H22）⇒9.7万t（H23）

水揚金額：587億円（H22）⇒246億円（H23）

18.8万t（H22年比60%）

（R4）

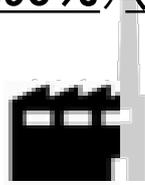
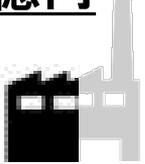
495億円（H22年比84%）



➤ 水産加工業等

製造品出荷額等：2,582億円（H22）⇒1,227億円（H23）

2,324億円（H22年比90%）（R1）



➤ 農業

農業産出額：1,679億円（H22）⇒1,641億円（H23）

1,755億円（H22年比105%）（R3）

➤ 観光（平成23年）

外国人宿泊者数：15.9万人（H22）⇒4.8万人（H23）

3.6万人（H22年比27%）（R3）

※従業員10人以上の
宿泊施設を対象

※R1は53.4万人（H22年比335%）